

浜加積地区の主な提言等と進捗状況

提言等の項目	H25春に開催した「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
市長と語る会	これまでの市長と語る会において、浜加積地区で提言されてきたことについてどれだけの予算が投じられてきたか。数字として示してもらった方がわかりやすい。	予算のかからない提言もあることや、他の地区との兼ね合いもあり、金額という観点から集計はとっておりませんが、次回の市長と語る会でお答えさせていただきます。
並行在来線	並行在来線について、いかに利便性をよくするか、いかに運賃を抑えるかという方向に考え方が寄ってしまっている。もちろんそれは大事なことであるが、もっとお金儲けを考えてよいのではないか。観光客を呼ぶために、移動目的の列車ではなく、例えば旅を楽しむ観光列車を企画し、そこで儲けたお金を地元住民に還元するのがよいのではないか。	ご意見のとおり観光客を誘致する必要があると考えており、そのためにはより魅力のあるまちづくりをしなければならないと思っています。観光施設の季節に応じたPRや、公共交通やコミュニティバスの活用、みのわなど魅力のある施設の整備なども考えられます。各自治体が観光客を呼ぶことができれば並行在来線も儲かることになるので、並行在来線会社、他の自治体と連携して取り組んでいく必要があると考えています。
旧アルプス農協浜加積支店の跡地利用	この辺りは浜加積村の時代には役場があり、今も浜加積地区の中心である。浜加積地区公民館、浜加積地区自治会連合会、浜加積地区福祉センターなどの施設があり、地区の住民が集う機会が多いが駐車場が少ない。消防団浜加積分団もあり、いざという時に駐車場のことで不安に感じておられる団員もいる。農協は旧支店の払下げを検討していると聞いており、市が買い取り、地域住民のための駐車場として整備してほしい。	その方向で検討します。農協と交渉したいと思います。
レストラン光彩	県外からの客人と一緒にレストラン光彩に行き、ほたるいかづくしを食べたが、あまり評判がよくなかった。自分自身も食べたが、もう1度食べたいと思うものではなかった。せっかく繁盛しているのだから、もう1度食べたいと思わせるような料理作りをお願いしたい。	地場産の食材を使うなど、料理長をはじめ日々研究をしているところです。お客様からは、ほたるいかに過剰に手を加えすぎではないか、もっとシンプルに地元の食べ方で提供したほうがよいのではないかと等々の提言をいただいているところです。皆様の口に合うように、さらなる研究を進めるようレストランに伝えます。
レストラン光彩	市の職員はレストラン光彩のメニューを食べたことがあるのか。実際に行って、食べてみることで新しい発見があるのではないか。	幹部職員をはじめ頻繁に利用しているほか、歓送迎会等においても優先して利用するようにしているところです。メニューに関する提言も多く寄せられており、皆様に満足いただけるよう、レストランに伝えていきます。
海上花火大会	海上花火大会の三尺玉は1発だとさびしい。2発上がっていたおかげで客も増えたのではないか。スポンサーの関係もあり難しいのだと思うがなんとか努力して2発上げてほしい。	三尺玉は1発100万円ほどかかります。なんとか2発上げるべく方々をお願いにあがっていますが、厳しい状況です。引き続き努力をしてまいります、皆様のご協力、ご支援よろしくお願い申し上げます。
海上花火大会	新潟の片貝の花火では、住民が祝い事等の折に寄付をして花火を打ち上げると聞いている。そのような方式をとってみてはどうか。	片貝の花火は浅原神社への奉納の花火で、結婚であるとか、成人や還暦などの折に神社に奉納することが根付いています。滑川市でも何年も前から結婚や誕生祝いなどで花火を打ち上げませんかと呼びかけているところですが、なかなか広がっていないのが現状です。そういった取り組みがあることを広げていただけると非常に助かります。
除雪	何年か前に町内会長が浜加積駅前の道を除雪するよう市へ頼んだが、地鉄の土地であるし、細い道であるから除雪ができないと返答されたという。学生や多数の住民が使っている道だが除雪はできないのか。	調べさせてください。次回の市長と語る会でお答えさせていただきます。
小水力、マイクロ水力発電	小水力発電が話題となっているが、もっと規模の小さいマイクロ水力発電というものもある。マイクロ水力発電において、富山県は全国的にも極めて有利な地形と聞いている。利用方法等について課題もあり今すぐにといいものではないが、マイクロ水力発電の普及について何か検討してみてもどうか。	小水力発電については、現在早月川沿岸土地改良区が建設されるものに対して補助金を出して進めていくほか、滑川市内で計画のあるもう1箇所にも同様に補助をしていきたいと考えています。マイクロ水力発電については、今のところ県内の自治体では実用に至っていないと聞いていますが、今後他の自治体等の研究をして、実現が可能であれば、普及策等について検討したいと思います。
ラジオ体操	夏休みの朝のラジオ体操を見ていると、子どもたちが真面目に取り組んでいない。学校ではラジオ体操を教えているのか？ラジオ体操の見回りや指導をしているのか？子どもたちがきちんとした体操をするような体制を。	ラジオ体操の見回りについては、児童クラブや地域の皆さんの協力をいただきながら行っているところです。運動会等でもラジオ体操をしているので、日ごろから子どもたちに教えているところではありますが、真面目に取り組むように指導します。地域の皆さんと連携して指導できたらと思いますので、今後もご協力をお願いします。
食育	入学式等での校長先生の話で、必ずよく睡眠をとりなさい、朝食を食べなさいと言っている。それほど朝食をとってこない子どもがいるのか。朝食をとらないと集中力がなくなるといった話も聞くが、どう考えているか。	国をあげて「早寝早起き朝ごはん」運動の推進をしているところですが、0～8歳までの食習慣がその後も習慣化するという報告があり、朝食をとらないことが習慣化し、大人になっても集中力の欠乏、無気力がずっと続いてしまうことを懸念しています。食育というのはとても幅広いものですが、滑川市の食育は、地産物の活用や食物アレルギー対策、有名講師による講演、食生活改善グループの活動、栄養教諭の配置など、順調に進んでいます。

浜加積地区の主な提言等と進捗状況

提言等の項目	H25春に開催した「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
小魚が泳ぐ小川の整備について	坪川保育所の子どもたちが散歩している姿を見かけるが、コンクリートの川ばかりでメダカやドジョウが泳いでいるような小川がない。子どもの情操教育という点からも小魚が泳いでいるような環境を作ってほしい。	そのような川の整備は維持管理の問題もあり難しいです。植物や虫、小魚などが住む環境として、ビオトープというものがあり、早月中学校のビオトープには通年でメダカが泳いでいます。東加積小学校、田中小学校ではホタルを飼育しビオトープに放流するなどの取り組みも行っています。滑川市にはビオトープの設計、施工に関する有資格者がおり、今後、自然環境を念頭におき、土木関係や新しい施設、学校などの建設に生かしていきます。